麻生東小学校学校だより

～笑顔の架け橋～

令和8年7月17日
第7号
文責:髙栁智恵

なりたい自分に挑み 響き合う学校 ～みがく つなぐ つくる～

確かな学力の育成

～基礎・基本を身に付け、自分の考えを伝えることができる児童～

6月30日　体育館のステージで、１・２年生による音読発表会を行いました。１年生は「大きなかぶ」、２年生は「スイミー」を発表しました。手作りの小道具や衣装を身に付け、登場人物の気持ちが伝わるよう、声の大きさや動き方を工夫して堂々と表現しました。本校では、表現力の育成に力を入れています。これからも、自分の考えや思いを豊かに表現し、相手に伝わる喜びを味わえる機会を大切にしていきます。

豊かな心の育成

～安心できる生活の中で、自他を大切にし、挑戦する児童～

7月2日、オーストラリアのドロマーナ小学校から児童10名が来校しました。実行委員40名を中心に企画・運営し、全校児童による歓迎会や、1～5年生との交流会を行いました。6年生は7グループに分かれ、琴や折り紙、習字などの日本文化体験を準備しました。英語で説明したり、ジェスチャーを交えて伝えたりしながら、心を通わせることができました。子供たちにとって、貴重な体験と思い出に残る一日となりました。

豊かな心の育成

～安心できる生活の中で、自他を大切にし、挑戦する児童～

7月7日、４年生を対象に、人権擁護委員の皆様による人権教室を行いました。授業では、友達を大切にすることや、困ったときには一人で悩まず、家族や先生、友達など信頼できる人に相談することの大切さを学びました。グループ協議では、自分の考えを伝え合い、友達の意見にも耳を傾けながら話し合いました。最後には各グループが発表し、相手を思いやることの大切さを改めて確認する貴重な機会となりました。

地域と共にある学校

６月２９日、５年生の親子活動として、親子ドッジボールを行いました。児童と保護者がチームに分かれ、声を掛け合いながら、仲よく楽しく活動しました。試合が始まると、どのチームも本気でボールを投げたり逃げたりし、会場は白熱した雰囲気に包まれました。親子対決は１対１の引き分けとなり、笑顔いっぱいの思い出に残る時間となりました。

７月３日、２年生の親子活動として、エコバッグづくりを行いました。児童は朝から活動をとても楽しみにしていました。待ちに待った活動時間を迎え、わくわくした様子で参加していました。親子でデザインや色合いを相談しながら、絵を描いたり飾りを工夫したりして、世界に一つだけのエコバッグを完成させました。笑顔で会話を交わしながら創作する姿が見られ、親子のふれあいが深まる素敵な時間となりました。

７月７日、地域の民生委員の皆様に学校を訪問していただきました。授業や児童の学校生活の様子をご覧いただいた後、学校での児童の様子や、地域での児童の姿について情報交換を行いました。地域の皆様が、日頃から児童を温かく見守ってくださっていることを改めて実感する貴重な機会となりました。今後も地域方々と連携し、児童の健やかな成長を支えてまいります。

１学期も、保護者や地域の皆様の温かいご理解とご協力に支えられ、無事に終えることができました。児童は、日々の学習や行事、地域の方々との交流を通して、多くのことを学び、心も体も大きく成長しました。夏休みには、健康と安全に気を付けながら、家庭や地域でさまざまな体験を重ねてほしいと思います。２学期に、元気な笑顔で登校する児童に会えることを楽しみにしています。

https://ww igashiel/

麻生東小学校ＨＰ